

# 東京2020大会終了後の施設活用などレガシーについて

## 1. 大井ホッケー競技場に係る後利用の方向性

(東京都オリンピック・パラリンピック準備局「新規恒久施設の施設運営計画」より抜粋)

(1) ホッケーの振興拠点

(2) 各種競技の普及・強化の拠点

(3) スポーツ施設と公園機能が融合した  
「総合的なスポーツ・レクリエーションの拠点」

※「大井ふ頭中央海浜公園」イメージ図



(東京都オリンピック・パラリンピック準備局HP資料より抜粋)

## 2. 区内開催・応援競技と障害者スポーツの推進

(1) ホッケー・ビーチバレーボール

(2) ブラインドサッカー

(3) 障害者スポーツ

## 3. 区独自ボランティア「しな助」

(1) 個人で「しな助」

272人 (2019年6月1日現在)

(2) 団体で「しな助」

26団体 (2019年6月1日現在)